

囲碁入門講座通信 令和 2 年 第 19 号

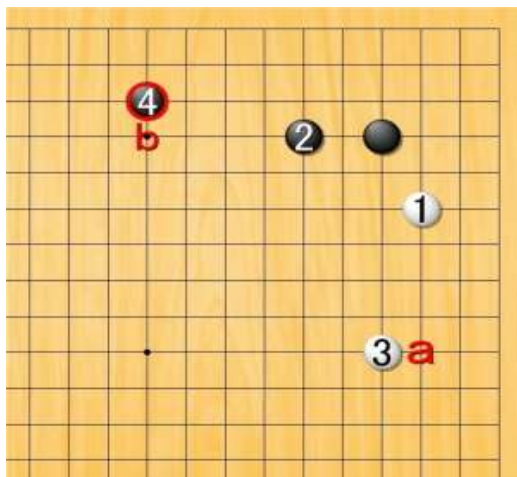


報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後 1 時半から午後 4 時ごろまで、朝日 2 丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中です**。(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用に囲碁用語を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

囲碁用語 初めての定石(星に小ゲイマガカリ)② 前号のつづきです。

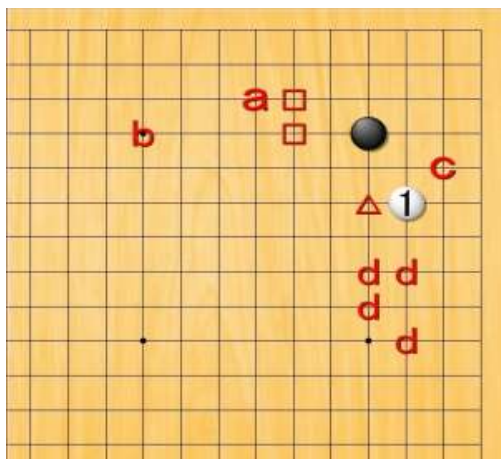


一間受けに辺の星

黒 2 と一間に受けた後、白が隅に働きかけず、辺の星(または星下)にヒウく定石です。黒も 4 または b と辺にヒウいて一段落ですが、この形はまだお互いに問題が残っています。黒の陣地には三々や辺(2 と 4 の中間)に打ち込みが残っていますし、白陣にも 1 と 3 の中間に打ち込みがあります。

今後はそれを意識しながら他を打つわけですが、打ち込み対策の心得もなくてはなりません。形だけ覚えても、初心者にはその後が難しい定石といえます。

「星に小ゲイマガカリ」への対応として、小ゲイマ受けと一間受けの最もポピュラーな簡明定石について解説してきましたが、これは 1 万数千種類もある定石のごく一部にすぎません。白 1 の小ゲイマガカリに対する黒の次の手だけでも、下の図のようにたくさんあり、その変化は無数にあります。相手が打ってくるかどうか分からないそれらの定石を、片っ端から機械的に暗記する意味はあまりありません。また、覚えたから碁が強くなるというものでもありません。「定石を覚えて二目弱くなり」という有名な川柳さえあるくらいです。



左図(ツケやハサミなど) 小ゲイマ受けと一間受け(口印)以外の手について補足しておきます。

△ツケ…ツケノビ定石については次号で、筋・形を中心に解説します。

a 大ゲイマ受け…現代ではあまり打たれません。三々に入れやすいのが欠点。

b 星にヒウキ…カカリに受けず、星に開くのは上辺～中央重視の打ち方。

c 特殊な受け方…周囲の状況によって選ばれる特殊な場合の打ち方です。

d ハサミ…一間ハサミ、一間高ハサミ、二間高ハサミ、三間ハサミがよく打たれます。力かった白石を攻めながら、右辺や左辺、中央などで得を図ります。

問題は、初級囲碁講座(無料講座)より引用しました。次号は 11 月 10 日発行予定です